

答申のことば

本審議会は、平成18年11月24日に町長の諮問を受け、「小国町都市計画マスタープラン」の策定について審議を行いました。

小国町はこれまで、多くの先人たちの努力によって、恵まれた自然環境と充実した都市機能が調和するまちづくりが展開されてきました。

しかし、人口減少傾向が顕著になるとともに、本格的な高齢社会が到来し、人々が暮らしに求める価値観は実に多様になっています。

このように時代の転換期において、小国町は「白い森構想」の概念の下に、地域の資源を十分に生かしながら、新しい時代のまちづくりを進めています。

この「小国町都市計画マスタープラン」は、第三次小国町総合計画を受けて定める都市づくりの指針でありますので、本日の審議会で議論された事案を速やかに補完のうえ、小国町の資源を十分に活かした計画の進行管理を提言します。

そして、行政はもとより、地域住民、企業など、まちを構成するそれぞれの立場で参画し、様々な場面で協働のまちづくりを行い、「白い森の国」として、小国町の魅力と活力を高めて行かれますことを切望し、答申のことばとします。

平成18年11月24日

小国町長 小野 精一 殿

小国町都市計画審議会

会長 渡部 鍊太郎